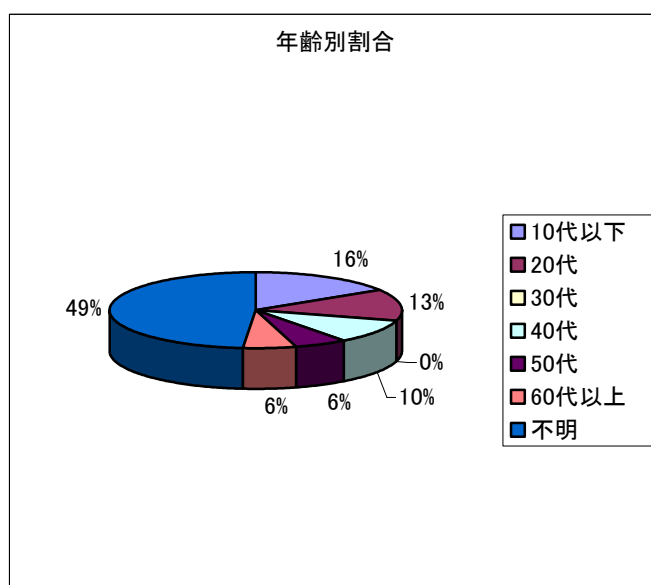
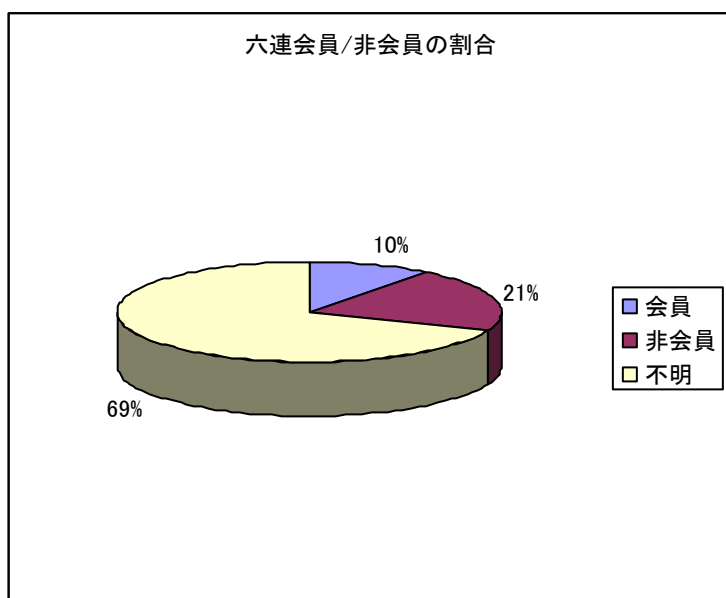
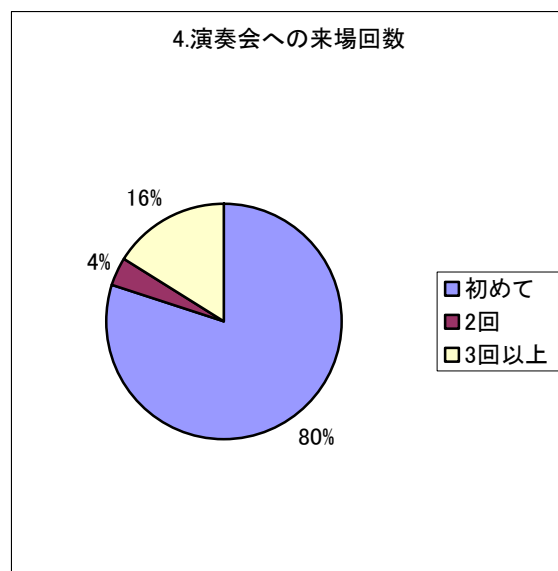
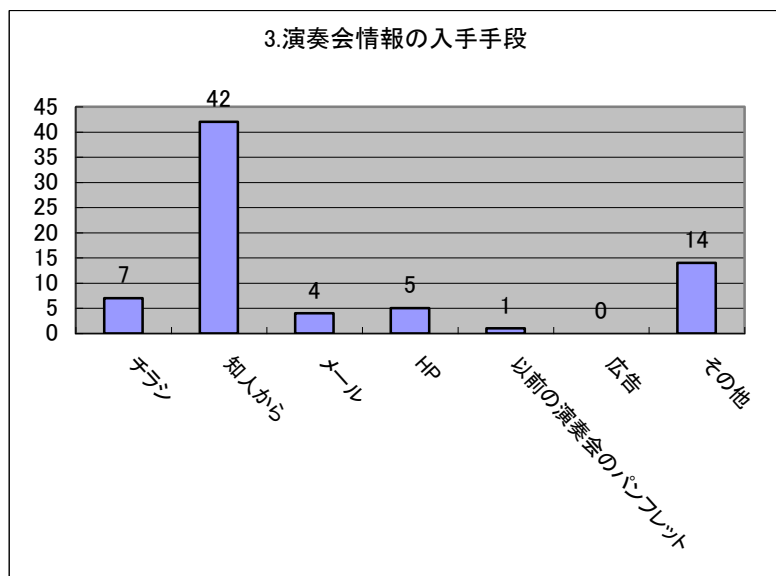
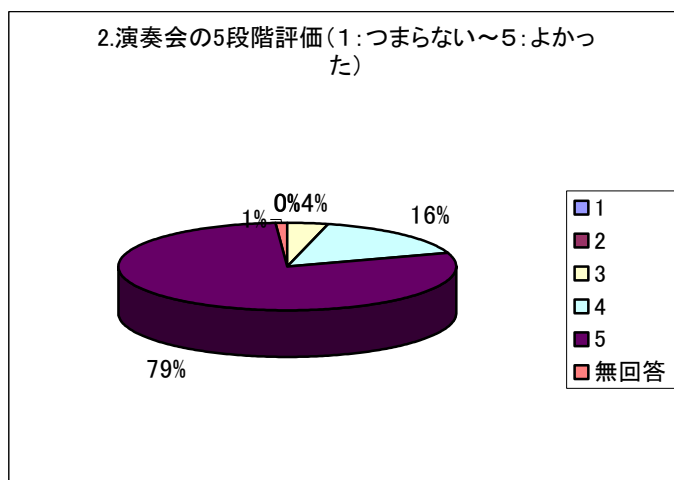
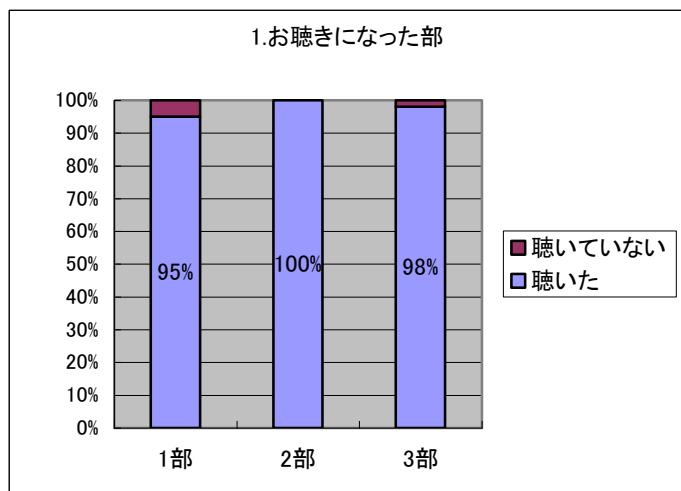


2009 企画演奏会アンケート「voyage～音楽史を旅して～」 アンケート集計結果

アンケート回収総数：68



※ 3.演奏会情報の入手手段について

<チラシ>内訳…ピティナの広告、三鷹市市政窓口、スガナミ楽器町田教室、学校の前で配っていた
 <その他>内訳…家族から、協賛企業用チケット

5. 演奏会の進行について問題点・意見等ございましたらお書き下さい

【よかった点】

とてもおもしろくて楽しい演奏会だった
歴史と音楽の関連がよく分かりよかった
進行・コンセプト等非常に興味深く飽きなかった
作曲家の説明がありとても分かりやすい
長い歴史をコンパクトにまとめようと腐心されている様子が伝わった
スムーズでテンポのよい進行
休憩が多い
司会の2名が良かった。演奏だけでは全体が平坦になったかもしれない

【改善すべき点】

司会に入る時の照明が一瞬遅い
司会の入退場を早めに行って、演奏者の入退場をゆっくり行わせてあげればよかった
後半の司会者の開き直りが少しだけ気になった
司会は毎回ではなく一気に3~4人説明してもいい。1部あたり、1人目の後と最後の人の前の2回でよいのでは
最初の演奏までのスライドを分散させて欲しい
休憩が短い
目安でいいので各部の開始予定・終了予定時刻はパンフに書いて欲しかった
全体の時間が長すぎる
照明が変わりすぎて、目がチカチカした
司会者の出入りの回数や動作・マイクの使い方の工夫

6. 各演奏、画像、説明に対しての感想をお願いします

【よかった点】

分かりやすい演奏会でよかった
演奏者のレベルが高い
映像が分かりやすくおもしろい
今までにない演奏会でとても楽しかった
ただ演奏を聴くだけでなく、各曲の歴史的背景がわかりよかった
世界史が好きなのでとても楽しかった
映像とともに進行されていたので、飽きることなく楽しめた
音楽史をしっかり学びたくなった
演奏者、曲目の紹介がとても良かった
作曲家がうまくばらけていた
画としても年代別に説明を加えたりは曲の導入として非常に良いと思う
バラエティに富んでいた
皆個性豊かな演奏ですばらしい。六連の方たちの色々な才能が集結したもので、最後まで楽しく聴くことができた
司会の二人のしゃべりはメリハリがあり上手。やりとりが面白く、飽きがこなかった
演奏者の方々も皆真剣に曲を表現しようとしていて、思わずその迫力にひき込まれた
曲目が変化に富んでいて、演奏も音大生に負けないくらい高度でとても楽しんで聴くことが出来た
音楽史も学べてためになる演奏会だった
映像と司会とのタイミングが合っていた
値段の割にとっても聴き応えがあった

【改善すべき点】

歴史の説明に関するレジュメがあれば良かった

演奏は舞台上上がって下がるまでが演奏だと思うので、もう少しきれいに歩いて欲しいと思う

パワポが時々一瞬で次に行ってしまうので見づらかった。パワポは1枚で30秒～1分位表示しておいてよい。

暗転中、舞台袖だけ明るいのが気になった

説明と曲の間が長く、もう少し短縮したら良いと思う

スクリーンの位置が高い

ホールの音で中低音の切れがもうすこし欲しかった

音楽的な違いや曲ごとの背景についての説明がもう少し欲しかった

演奏はレベルの差が目立った気がする

(リスト/超絶技巧練習曲 S.139 より第4番「マゼッパ」に関して)超絶技巧から話をつなげていたが、高い精神性、和音の斬新さそして政治的メッセージ性にも視野を広げるべきだった。リストが超絶技巧馬鹿のような印象を与えかねない。